

長根だより

令和7年11月15日

11月号

長根小 学校通信

【校訓】 強く 明るく よく励む

学びを広げる力

長根小学校長 三宅 勝之

秋の深まりとともに、子どもたちの学びも広がりを見せています。11月は、町探検や校外学習、アーティストによるワークショップなど、教室を飛び出し、地域や本物の芸術に触れる機会がたくさんあります。

地域の人々の働きや暮らしに触れ、社会の仕組みを知ること。アーティストと出会い、表現の世界を広げ、自分の感性を磨くこと。こういった貴重な体験は、知識を増やすだけでなく、人や社会とつながり、自分の世界を広げる大切な学びになります。

このような体験を重ね、いろいろなことに興味をもち、調べ、考えたことを、仲間と共有しながら、自分なりの答えを見付けていきます。さらに、感じたことや考えたことを表現し、次の問いへとつなげていくというサイクルで学びを広げていきます。長根小学校では、これらの力を育むために、地域や専門家との出会いを大切にしています。

今回の町探検は、見学先である地域のお店や施設の方々、引率補助をしてくださるの方々など、多くの地域の皆様のご協力によって実施できています。保護者や地域の皆様のご理解とご協力に心より感謝申し上げます。これからも、子どもたちの学びの広がりと探究の芽を、学校とともに温かく見守っていただければ幸いです。

みらい 未来につながる子どもたちへ No.88

かんが 「よりよい」を考える

あめあ 雨上がり、とてもよい天気です。たくさんの子供たちが運動場で遊んでいます。しかし、一か所、子どもがいない場所があります。サッカーゴールの前です。そこに大きな水たまりがありました。サッカーが大好きな子はたくさんいます。いつもサッカーゴールの前は、サッカーを楽しむ子たちがたくさんいます。そういえば、1学期の頃は、水たまりがあってもサッカーをしようとする子もいました。やれば楽しいけれど、靴も服も濡れてしまうし、グラウンドも余計乾きにくくなるよ、と何人かの子に話したことがありました。きっとそれが考えるきっかけになったのでしょう。下級生にも教えてあげたのでしょう。今では何も言わなくても、水たまりを避けて遊ぶようになっています。

やりたい気持ちをおさえて、先のことを考えて行動する——これが調整力です。調整力は、勉強や生活、友達との関係にも役立つ大切な力です。「どうしたらいいかな?」「どうしたらもっとよくなるかな?」と考えると、自分で決める力を育てていきたいものです。